

カルホス® 粉剤

(KARPHOS DUST)

登録番号 第13290号
 種類名 イソキサチオン粉剤
 isoxathion
 殺虫剤分類 1B
 性状 類白色粉末 45 μm以下
 有効年限 4年

有効成分 イソキサチオン 2.0%
 PRTR イソキサチオン(PRTR・1種) 2.0%
 毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 包装 3kg×8袋

■特 長

1. 土壌害虫に優れた効果を現します。
2. 土壌中でも比較的安定で、残効性があります。
3. 作物への吸収移行やガス効果がなく、接触的に作用します。
4. 悪臭や刺激性がないので使いやすい薬剤です。

■適用害虫名及び使用方法

(2020年11月25日現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数	使用方法
だいこん はつかだいこん	タネバエ ネキリムシ類	6kg/10a	は種時	1回	1回	土壌表面散布 土壌混和处理
はくさい キャベツ	ネキリムシ類		は種時 または 植付時			
ねぎ				2回以内	4回以内 〔は種時は1回以内、 植付時は1回以内、 植付後は2回以内〕	
わけぎ あさつき レタス 非結球レタス トマト ミニトマト なす					2回以内	
きゅうり	タネバエ	4～6kg /10a	は種時	1回	1回	播溝土壌混和
ほうれんそう	ヨトウムシ類	6kg/10a				定植時
なばな類 (オータムポエム を除く)			ネキリムシ類	4～6kg /10a	は種時 または 定植時	2回以内
オータムポエム	は種時～ 本葉2葉期	土壌表面散布				

殺 虫 剤 カルホス粉剤

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数	使用方法	
えだまめ	タネバエ ネキリムシ類	4～6kg /10a	は種時	1 回	5回以内 粉剤および粉粒剤の は種時の処理は 合計1回以内、 粉剤および粉粒剤 の定植時は 合計1回以内、 粉剤の土壌表面散布 は1回以内、 粒剤の土壌表面株元 処理は2回以内	作条施用土壌混和	
	ネキリムシ類		定植時	1 回		土壌表面散布	
豆類(種実) (ただし、だいず を除く)	タネバエ ネキリムシ類	4～6kg /10a	は種時	1 回		1 回	作条施用土壌混和
さやえんどう	コガネムシ類幼虫	9kg/10a					
さやいんげん	タネバエ	6kg/10a	植付時	1 回		土壌表面散布 土壌混和处理	
実えんどう	コガネムシ類幼虫	9kg/10a					
いちご (仮植床)	コガネムシ類幼虫	9kg/10a	成虫飛来初期 ～盛期	5回以内	5回以内	散布	
うど	センノカミキリ	6kg/10a	定植時	1 回	1 回	株元散布	
ほうきぎ	ネキリムシ類	6～9kg /10a	植付前	1 回	2回以内	土壌表面散布 土壌混和处理	
たばこ							

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせて秤量し、使いきってください。
2. 本剤は地表面全面に均一に散布し、表層土壌とよく混和してください。作条処理の場合は、は種または植付ける作条になるべく幅広く散布し、土壌とよく混和してください。植穴（播穴）処理はさけてください。
3. いちごに使用する場合は、仮植床で使用し、床面全面に均一に散布して表土とよく混和してください。
4. うどのセンノカミキリの防除に使用する場合は、地際部によくかかるよう散布してください。
5. つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
6. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
7. ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
8. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意 

9. 作業中は農薬用マスクなどを着用してください。作業後はうがいをしてください。

治療法：本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。

水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類）に影響をおよぼすおそれがあるので、河川、養殖池などに飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布器具及び容器の洗浄水は河川などに流さないでください。また、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、食品と区別して、小児の手の届かない、直射日光の当たらない冷涼な乾燥した所に保管してください。

-
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
 - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
 - 使用量に合わせて秤量し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。